

北海道開発局では、地域を支える建設業の健全な発展を後押しするため、建設業等の働き方改革の取組を行っています。働き方改革の重要な取組の一つであるi-Construction※の普及促進に向け、新たに『北海道開発局i-con奨励賞』を創設し、建設現場における生産性向上の優れた取組を表彰します。

背景

暮らしや産業を支える社会資本の整備や維持管理の担い手として、また激甚化・多様化する災害に対する地域の守り手として、建設業界の果たすべき役割はますます重要となっています。一方、北海道は全国よりも10年先行して人口減少や高齢化が進んでいます。こうした中にあっても引き続き建設業界がその役割を果たすために、担い手の安定的確保・育成に向けて、建設業の労働環境の改善などの取組を進めるとともに、限られた人員の中、品質と安全性の確保に向けて建設現場の生産性向上をより一層進める必要があります。

国土交通省では、建設現場における生産性を向上させ、魅力ある建設現場を目指す新しい取組であるi-Constructionを推進しており、北海道開発局においても、『北海道開発局i-Constructionアクションプラン』を策定し、普及促進、技術向上に努めています。

i-Construction普及に向けた新たな取り組み

今回、建設現場における生産性向上の優れた取組を表彰することにより、建設産業に携わる企業のi-Construction導入に向けた意欲向上を図るとともに、優れた取組事例を広く周知することで、より一層のi-Construction推進を図ることを目的として、新たに『北海道開発局i-con（アイ・コン）奨励賞』を創設することとしました。



※i-Construction（アイ・コンストラクション）とは…

調査・測量から設計、施工、維持管理までのあらゆる建設生産プロセスでICT（情報通信技術）等を活用して建設現場の生産性向上を図る取組です。

建設現場の生産性向上を実現するため、トップランナー施策を先行的に進め、得られた知見等を踏まえて他の施策へ展開し、全ての建設現場への浸透を図ります。

●トップランナー施策

- ①ICTの全面的な活用（ICT活用工事等）
- ②全体最適の導入（コンクリート工の規格の標準化等）
- ③施工時期の平準化